

令和 5 年 12 月 吉日

全国若手議員の会
会 員 各 位



関西若手議員の会
会長 浅山 誠一(和歌山県田辺市)

関西若手議員の会 1月京都研修のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、関西若手議員の会では下記の通り研修会及び総会を開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、出欠席に関しましては、大変お手数ですが1月8日（月）までに下記、調整さんにてお申込みくださいませ。皆さまのご参加お待ちしております。

敬具

記

- 開催日：2024年1月15日(月)～16日(火)
- 場 所：京都府宮津市 ((社福)みねやま福祉会「マ・ルート」、上宮津地区公民館、天橋立)
- 参加費：1日目・無料、2日目・無料(昼食費等は実費)
- お申込：調整さん
- その他：参加希望者の方へは詳細をご案内致します。
- 日 程：下記スケジュールを予定しております。

日時	会場	内容
1月15日(月) 13:00～14:30	(社福)みねやま福祉会 「マ・ルート」 (宮津市宇波路 716番地の3) ---終了後移動---	研修① 福祉とアートの「嗜み合わない」トークで踏み込む多様性のリアリティ 講師：櫛田 啓氏 (社会福祉法人みねやま福祉会 常務理事)
15:00～17:00	宮津地区公民館 (宮津市小田 231)	研修② 小規模多機能自治について
1月21日(火) 10:00～12:00	天橋立 (丹後天橋立大江山国定公園)	研修③ 現地視察 (天橋立・宮津市の観光について) 講師：宮津市商工観光課次長

*初日1月15日には懇親会のご用意もさせていただいています、奮ってご参加ください。

*推奨宿泊施設

- ・ホテル丹後
- ・オーベルジュ 天橋立

以上

【お問い合わせ】

関西若手議員の会

事務局長 大田 裕之 (和歌山県紀の川市)

TEL:080-1409-7677 Mail: clover1011h@gmail.com

京都府宮津市 研修報告書

椿原 竜二

1. 研修日程

2024年1月15日(月)

2. 場所

研修① みねやま福祉会「マ・ルート」

研修② 上宮津地区公民館

研修③ 阿蘇シーサイドマートミップル4回第2 コミュニティルーム

3. 研修内容

研修プログラム①(トークイベント)

テーマ：福祉とアートの「嗜み合わない」トークで踏み込む多様性のリアリティ

講 師：櫛田 啓氏（社会福祉法人みねやま福祉会常務理事）

児童・障がい・高齢の複合型福祉施設「マ・ルート」（宮津市）の実習センター長、児童養護施設「てらす峰夢」（京丹後市）施設長を兼任。「ごちゃまぜの福祉」を掲げ、福祉現場を拠点に人と人が交流するようなまちづくりを目指す。元公益社団法人日本青年会議所 共創グループ理念共感拡大会議議長。

研修プログラム②

テーマ：「小規模多機能自治について」

講 師：八尋 慶教 氏

京都のチベット丹後半島のど真ん中、超へき地生まれで上宮津地域への移住者。

アルバイトを含め6種類の職種経験があり、7年前に民間会社の社長を退職。結婚もなく、この地域に移住。地域の振興団体及び自治連合会の会長などの活動を通して地域を知り、地域と共に歩んできた。現在は住職をしながら、よそ者、馬鹿者の先駆者として活動を楽しんでいる。

研修プログラム③

テーマ：「宮津市（天橋立）の観光について」

講 師：宮津市商工観光課 前田 繁次長

光のコーディネーター
夜でなく「さとり」は、森に光を差し込むことで、様々な草木や花々、小さな虫や動物といった多種多様な生態系が広がりに影響をもたらす、輝かせられた世界を創ります。そんな「さとり」のことを人間・Hostsでは、「ぬるい光が多種の人々を包み込み、互いに影響をもたらす世界を創ります。私たちは、人々を包み込む光をコーディネートする『さとり』の役であつたと思います。

施設概要

- 特別養護老人ホーム 定員60名
- 保育所 定員20名 ※吉津保育園の分園として
- 障害者(児)施設 訪問総合支援型(定員10名)
生徒介護(定員5名)
放課後等デイ(定員10名)
- 実習生 宿泊室(8部屋)、研修室

住所:〒716-0061
富山市宇連町(字神ノ内)716番地の3
電話:0772-20-1150
(エルター1151 ワンダーハーバー 1152 キッズ1153)
FAX:0772-20-1154
HPアドレス: <http://www.mineyama-futusiki.jp/>

Ma Roots
Our Place 「私たちの居場所」

TEO-TORIの海
テオトリのうみ

Wonder harbor
ワンダーハーバー

ELDER TOWN
エルダータウン

TEO-TORIATTE
テオトリアッテ

Ma Rootsでは年齢や歴史、階級の有無に関わらず、更にサービス利用の有無に関わらず、誰もが自分らしく暮らされる「ごちやまじ」の先には、人と人が支えあう「テオトリアッテ」という姿があると信じています。

TEO-TORIATTEのマークがついている場所はサービス利用の有無に関わらず誰でも自由に活用できるベースです。お気軽にお問い合わせください。

Kids Land キッズランド (保育園)
ぬくもりのあら尼場所
「はじめてのひよこ♪」歌われる遊びを感じられる場所、キッズランド。
新しい春を求める、あそびの森へ、しゃっぽつ! さあ! あそびの森がはじまるよ! 」

ELDER TOWN エルダータウン (老人ホーム)
あのね、宿泊料金をあきらめないでね。

TEO-TORIの森 テオトリのもり (保育園の庭園)
みんなで森づくり
キッズランドの隣接は子どもの冒険心をもくすぐる「森」。地面はコテコテで、色々な鳥や生き物に囲まれ、不思議がいっぱい。ゆっくりお休みの方々と遊んで遊んでいます。いつも、静かでご自分の遊びを楽しんでいます。

Lounge ラウンジ (1階オープンスペース)
特別から日常へ
スライド式ドアリモコンを交わせば、会場が快適空間の丸の内へ。
多様性を誇る会場、ありのままの自分で居られる空間は、誰もが参加できる「私たちの居場所」です。お気軽にお問い合わせください。

common space コモンスペース (2階オープンスペース)
三人寄れば文殊の知恵
コモン(common)とは「共通の」という意味があります。会議・会議・ワークショップ等で個別的なワーキングスペースとして等、幅広い用途でご利用いただけます。時には映画の上映会も・・・。みんなの知恵が詰めています。

宿泊ルーム
全室個室(風呂・トイレ・専用)の客室施設をB部屋備えています。洋室と和室をコンセプトとした2種類の部屋があり、洋室の部屋では窓から日本三景天橋立の松並木を眺めることができます。

TEO-TORIの海 テオトリのうみ (保育園の庭園)
ぬいのぬい
海遊びいは完全に舗装された海岸すべりを設けています。日本二箇所を完備した海岸すべりを設けながらぬいのぬいを楽しんでいただけます。水にはヒーリング効果があると言われています。ぬいのぬいから抜け出し、雨にはぬいのぬいです。

Wonder Harbor ワンダーハーバー (保育園)
ぬいと発見の輝へようこそ。
ワンダーハーバーには絶対に喜びの声がいるのあなたやサポートがいるあなたがいます。誰もが受け届けてくださることのできる場所になる。人とかかわり来るシナジーがあることに。



マ・ルート 「すべての人の持つ可能性に奉仕」

人は誰もが豊かな内面を持ち合わせています。
違いを認め合い、ありのままの自分で居られるという安心は、自らの可能性を感じ続ける自信へつながり、生きがいという自由を生みだします。
さらに、人と人がつながり互いの自由が混ざり合うことで、それは夢へと進化します。
誰もが自分らしく暮らせる居場所には無限の可能性が溢れています。



Our place 和たちの居場所

Ma・Roots は、子ども・大人・お年よりという世代に関わらず、また、年齢や疾患、障がいの有無に関わらず、誰もが自分らしく居られる空間です。全ての人に出番と役割があり、誰もが主役になれる「私たちの居場所」となることを目指しています。

未来の人財育成

資格取得のための現場実習やインターンシップを積極的に受け入れ、未来を担う人財を育成します。全室個室（風呂・トイレ完備）の宿泊施設を備え、宿泊しながら現場実践を体験・学んでいただくことができます。テーマは「出会い！」。ご利用者・スタッフ・地域の方々と関わり、人のもつ可能性に触れた時、心を揺さぶり、暖め、癒される体験はあなただけの“ほっこりストーリー”として人生に刻み込まれます。また、実習コーディネーターが事前面談の中で個々のご要望を丁寧に聞かせていただくことで、それぞれのニーズに合わせたオーダーメイドの出会いプログラムを構築します。更にスキルアップを望まれる方向けに取り揃えた各種セミナーは、自由に選択して受講することができます。



Ma-Roots マ・ルート

M a :「フランス語」「私の」
R o o t s :「根源」「結びつき」「ふるさと」
多言語を混ぜ合わせた「Ma-Roots (マ・ルート)」は、人と人を結びつける「ごちゃまぜ」の根源であり、人々の心のふるさと（居場所）となるようにという願いが込められています。



第3回関西若手議員の会研修in宮津市

地域が生き抜くために (小規模多機能自治を目指して)

上宮津地域の取り組み



自己紹介

八尋慈教 (やひろ じきょう)

八回尋ねても解らず、慈しみを通して教えて頂きながら73年生かせていただきました。

1978年に移住しましたが、**住居の7区は女性に逆らって生きていけないパワハラ発祥の地**

京都のチベットと言われた丹後半島のへそ木子で寺院の長男として生まれました。**水道、ガスは無料 電気は一部ろうそくもあり超省エネ**生活で育ちました。冬は11月末から3月末までは全く交通機関は遮断されます。昭和38年には積雪量4.80mを記録しました。

(元祖へき地 この地の為に出来た言葉)

全校生14人の小学校 同級生2人 中学校は同級生7人の隣村へ片道4kmを通り、冬は寄宿生活でした。中学校には、**ホンダカブ**が授業用に配備されていて2回完全分解して組み立てて遊んでいました。**理解のある先生？**がおられて、隣村までは乗っていいといわれ乗っていました。

3年の時には車にも乗って帰って父親に叱られた思い出があります。 (自由奔放な村)

・健康状態

- 高血圧・・・降圧剤服用6年間服用～自己判断で取りやめ 理想的血圧4年継続
- 無呼吸症候群・・・治療中(シーパップ) 穏やかな睡眠時間となっております そろそろ離脱？
- 高脂血症・・・・中性脂肪は米飯を控えればすぐに下がる (5分付き玄米おすすめ)
- 低総蛋白、アルブミン・・・マラソン選手が競技前に高地でトレーニングの状態という事
6病院の検査統一見解 原因解らず (本人が元気なら大丈夫?)

以上医師のお墨付きで1日9時間は農林省の下請け作業

・現在の主な仕事

農林省の下請け作業(休耕田の有効活用)

喜多駅プロジェクト・・農業体験(ニンニク 玉ねぎ 落花生 大豆 小豆等)栽培

喜多城俱楽部・・・・お米(地域の重鎮83歳3名を含む8名)1.2ha

移住定住促進・・・空き家の掘り起こし(連絡調整)

各団体への補佐・・・イベント等への協力

一般旅館業民泊・・・農家民宿から一般旅館業に変更(食事提供無し)

民生児童委員常務

教念寺住職

上宮津地区の概況

(2023年10月31日現在)

大手川沿いに 東西 800M
南北 3.5K の村

人 口 701人 (男346人 女355人)

世 蒔 数 353世帯 高齢化率 50.4%

内 訳

65歳以上 353人 (男性157人 女性196人)

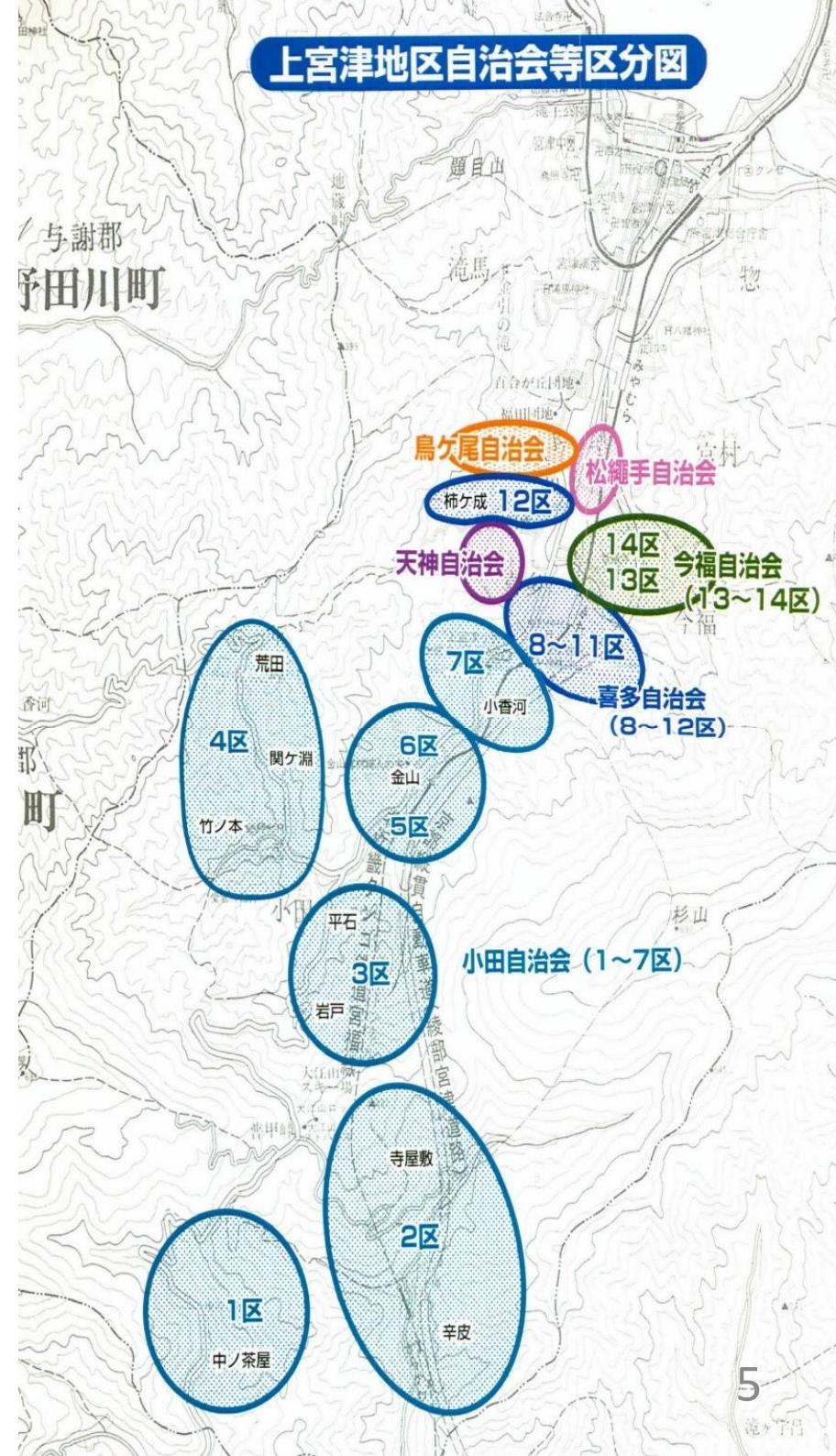
83歳以上 33人 (男性61人 女性68人)

高校生以下 81人

自治会数 5 小田、喜多、今福(旧村14区で構成)
(旧村個別の活動はほとんどない)
天神、松縄手

鳥が尾地区も行政区であるが、2023年4月上宮津自治連
から離脱された。 (人口 224名 高齢率58%)
(要因 会費支払いと自治連加入のメリット)

平成27(2015)年3月 上宮津小学校廃校
令和02(2021)年4月 上宮津保育所休所



少子高齢化・過疎化により
地域が成り立たなくなる



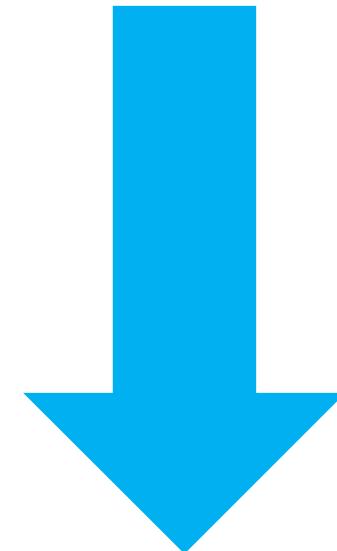
今、自分達が何をやるべきか！

こんなに恵まれた日常の良さを、そのまま伝えて
地域の賑わいと新たな生業に結びつけるために！

2002（平成14）年 住民で考える将来展望ビジョンの策定



次のステップに進むために！



上宮津振興計画の実践組織として

上宮津21夢会議を設立

2003(平成15)年 3月22日 発足

活動理念

- ① 夢と口マンを語りながら、地域の人たちが、自ら愛し誇れる上宮津を築くため、自発性とボランティア精神に基づいた活動を行います。
- ② 地区の優れた、お宝を掘り起こし、育て、それらを生かす地域づくりを進めます。
- ③ 農村のぬくもりや豊かさを再発見・再認識するとともに農村を未来に生かし伝えます。
- ④ 人々のふれあいと連携を大切にし、自ら楽しみながら夢会議の諸活動に参画します

まず地域の良さを知り、賑いつくりをする

ほっておけば衰退していく離れた集落の活性化イベント

辛皮ホタルとカジカ夢酔い祭りを毎年開催(毎年300名以上の参加)



辛皮センベイ・など地元産品の即売



こども夢会議 府道沿いに植栽



家族そろって環境整備



資源回収



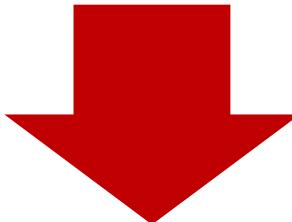
線路の法面清掃

19年間(6部会)で自ら楽しむ活動で、自主活動の自信が付いた！

1.活動基盤が出来た。

2.地域が出来る事から始め、事業の可能性を探る組織体制の構築

宮津市より、地域会議の設立を提唱



上宮津地域会議の設立
(2010(平成22)年6月)
地域の主要17団体(4部会)で組織

地域における課題解決や、むらづくり活動と事業化を含む実践を目的として、**上宮津地域会議を設立**

～夢会議の活動実績と自信を“なりわいづくり”に向けて～

上宮津独自の自慢の運営組織

上宮津21夢会議 自治会 公民館 地域会議
4団体が、それぞれの責任で役割分担をして活動する。

自治会 公民館

21夢会議

農村のぬくもりや豊かさ、
地域の魅力を再発見し、
夢とロマンを語りながら
知恵を出し、自らが楽しみ、
自らが愛し誇れる、
むらつくりを目指す。

環境大臣表彰 平成20年

地域自治としての活動
行政との連絡調整
地域17団体の調整役

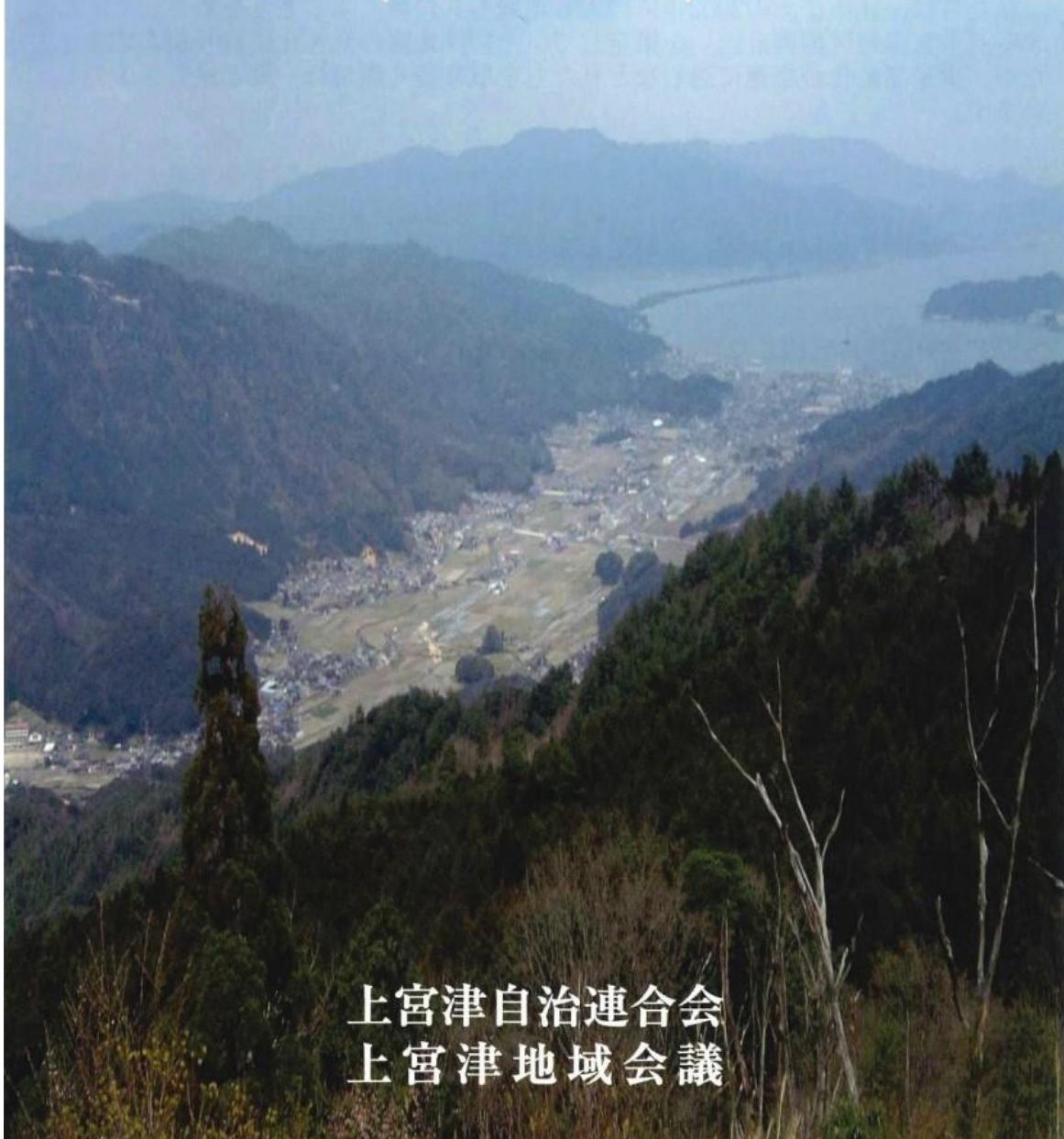
区民運動会、地区敬老会
の開催。 地区駅伝、
農業文化祭、健康クラブ、
趣味の会、料理教室、
スポーツ教室、
子どもイベントなどの共催

地域会議

夢会議、各団体のアイデアなど
を参考に、地域の生業作
りに向けて、企画し合意形成
とともに、実践に取り組む会

夢会議の18年間の活動実績を基盤に、
相互の役割が両輪となって、地域活性化に取り組む。
同じ目標に向かって集える仲間の住む村

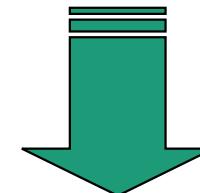
上宮津2022年ビジョン (2013~2022)



上宮津自治連合会
上宮津地域会議

2002(平成14)年作成の
上宮津地区振興計画
の見直し

住民へのアンケート調査
結果 69%の回答率
(745名/1,080名の回答)



各住民組織で検討

2013(平成25)年 3月
上宮津2022年ビジョン策定

上宮津2022年ビジョンの具体的展開

I コミュニティーが深まる地域づくり

祭り、駅伝などの伝統行事を維持・発展
女性が中心となり、サロン活動を開催

II 子供と若者が増える地域づくり

ブログやSNSによる上宮津の魅力発信
空き家の掘り起こし、移住希望者への丁寧な説明

III 集落機能が維持していく地域づくり

上宮津の魅力を再発見する
ワークショップの開催

IV 農林業や観光を中心に自然の恵みが経済の発展につながっていく地域づくり

歴史古道の整備など地域資源の保全と活用
モロコ・わさびの栽培と商品化
森林整備・竹資源の有効活用

V 生涯を通じて誰もが安心安全に暮らせる地域づくり

住民主体によるマイ防災マップの作成
メールによる一斉情報配信システム
要支援者の見守り活動

上宮津への移住・定住促進への取り組み

2003年上宮津振興計画の策定され推進団体として上宮津21夢会議を創設

設立趣旨

地域を知る 自ら楽しむ 地域の活性化 (少子高齢対策)

自慢できる地域づくり 住んで良かったむらつくり

続いて2013年に策定された 上宮津2022年ビジョンには、

重点方針として

子供と若者が増える地域づくり

として位置づけ活動が始まりました。

移住定住促進の担当部署の設置

- 従来からの組織

自治会 公民館 体協 老人会など

上宮津21夢会議 (2003年策定の上宮津振興計画推進団体)

(2012年～2014年婚活交流会の開催) (3組の夫婦が誕生)

- 新たな組織

上宮津地域会議 (2013年創設)



移住・定住促進担当とした (フットワークを軽くできる)

移住希望者は短時間で地域を知ることは出来ない
地域での滞在でより地域を知っていただきたい

宿泊施設の開設

- お試し住宅の設置 (今福 一般宿泊) 農業体験 地域の自然探索 観光客
- 民宿の開業 (喜多)

関 野 亭 (農家民宿)

宿泊者実績 令和3年～5年 約150名 (農業体験等)

達っちゃん家 (一般宿泊)

宿泊者 約40名 (活動学生等) 観光客

農泊シェアハウス

シェアハウス ゲストハウス 農泊

移住者、定住者の増加 (I/Uターン含む)

22世帯 大人 40名 子供27名 (2023年11月30日)

平成29年度移住者

今福地区 2世帯 4名 (子供3名)

小田地区 4世帯 8名 (子供8名)

平成30年度移住者

喜多地区 2世帯 4名 (子供2名)

小田地区 1世帯 1名

令和元～4年度移住者・定住者

小田地区 5世帯 7名 (子供6名)

喜多地区 5世帯 10名 (子供5名)

今福地区 2世帯 4名 (子供1名)

天神地区 1世帯 2名 (子供2名)

移住者との交流会 (上宮津の最も得意とする分野)

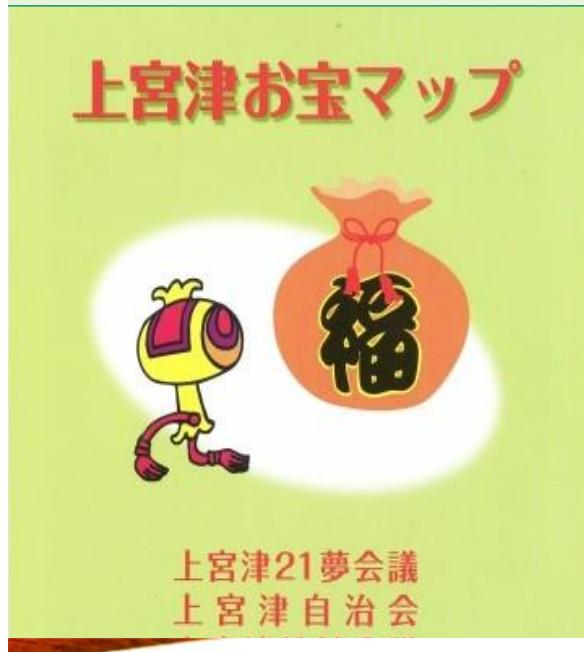


より良い空き家の提供。直接管理者と交渉して、空き家登録を依頼
移住希望者へ地域の特徴などを丁寧に説明

part3 集落機能が維持していく地域づくり（まず地域を知る）

杉山ゆめだより
地域のPR冊子 杉山のしおり

お宝マップ ふるさと上宮津ニュース 上宮津ものがたり
かみやづAtoZの発刊



今まで、
新たなお宝を
求めてきたが

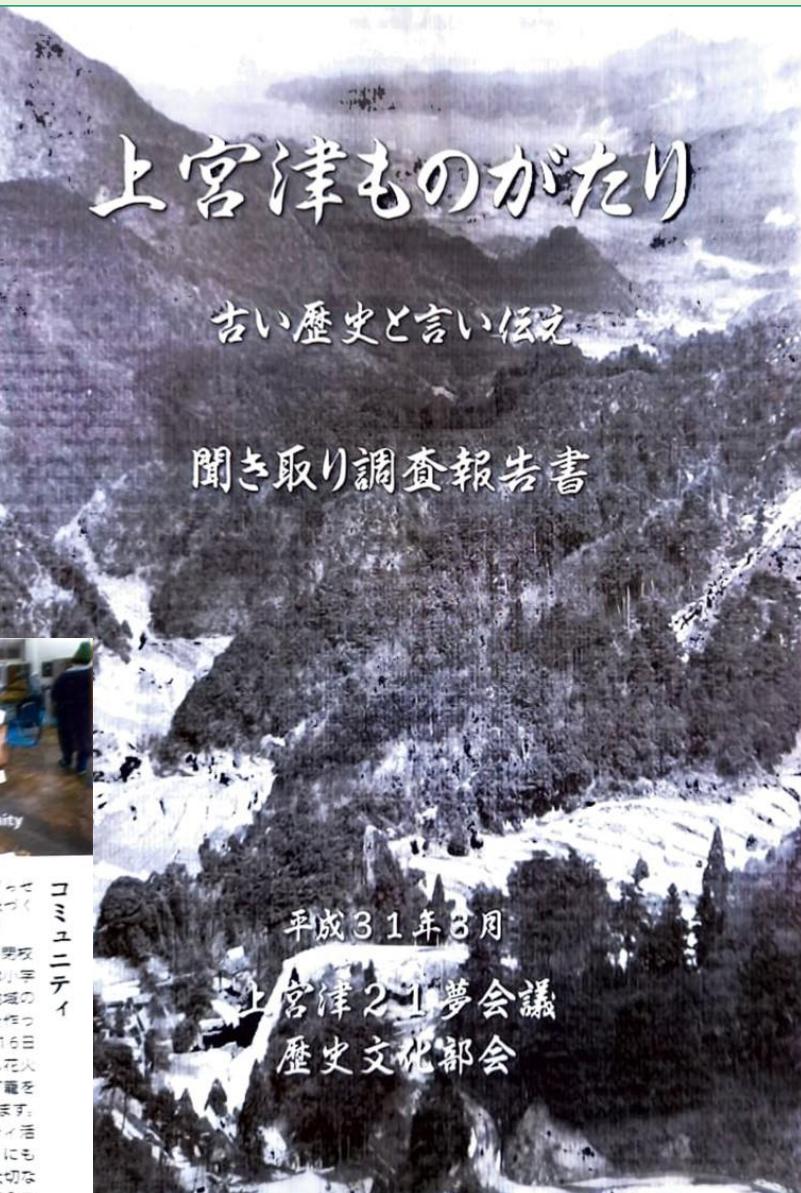
本当のお宝は
地域の日常である
ことに気づいた。



contents	
A 爽應神社・上宮津祭り	N 農業文化祭
B 上宮津のシンボル、はばたく森	O 大手川
C コミュニティ	P 多士済々
D 上宮津21夢会議	Question
E Ekiden	Q 蛇綱(蛇を祀るのは?)・ 今福の滝(名瀑の不思議)
F 古心・薬師さん	R 杉山林道・大杉
G 金山黄銅鉱坑道路	S サロン・ド・カミヤツ
H 上宮津地区公民館	T 寺院宗 大圓山 盛林寺
I 古の道	U 雲海とカフェ
J 山麓記念日	V 美しい里山の風景
K 辛皮(ホタルとカジカ夢酔い祭り)	W 仕事・生業
L 生活・営み	X 交流
M 城山	Y 若者
	Z 全体・全景

江戸時代から続く上宮津祭りは4月の第3土・日に行われます。一番の見どころは、日曜朝・小田閑ヶ瀬の山頂355mに座する村の鎮守愛宕神社に、各地区的神楽、太刀振り・太鼓、奴計6組の芸能が集結し、神事の後奉納されることです。未明に出発、険しい山道を登り、明け方6時、満月の空気の中、五穀豊穣を願って巣かな中にも賑やかに執り行われます。

杉山の樹林が織りなす「大場」は、冬将軍に保護色となる。杉山の中腹に、杉群が鳩の形をしてランマークのように息づいています。その鳩は「見返り美人」のように振り向いて、天の橋立を眺めています。まわりの木々が、春には草緑色、秋には黄色・紅色になるため、鳩の常緑との対比が見事です。冬には、杉山一帯が雪に覆われ、鳩も雪化粧します。



集落営農の取組



耕作放棄地の防止に向けて有志による休耕田活用プロジェクトを進めてきたが、集落営農の取組を進め、**移住者の産業基盤の創出・農業従事者を育成を目指す。**

先進地視察

(参加者実費 10人～15人)

・ 隠岐の島 海士町

人口 2,295人 “ないものはない”

- 半官半Xの推進 町官民挙げての取り組みを社会モデルとする。
- 大人の島留学
- 海士町未来投資基金の設立

□兵庫県朝来市 与布土地区

人口 1500人 500所帯

与布土自治協議会へ自治交付金500万

管理委託費800万

道の駅 まほろば

6部会活動

3事業(百笑村 与布土米 都市農村交流事業)

・ 高知県 馬路村

人口 717人

- ゆずの村(ごっくん馬路村)
- ゆずジュース

□徳島県 上勝町

人口 1500人

- 高齢者がタブレット使用で葉っぱビジネス
- 200件の農家で2億5千万円 売上
- ゴミ0の村 住民による45種類 の分別 現在達成率80%

視察で感じたこと “ここだから出来るでなく、私達にも、できると言うこと”



休耕田の有効活用と新たな産業の創出に向け、府立海洋高校と連携し、ホンモロコ養殖に挑戦。
現在は水田 4 枚（約9a）とプールを使用

休耕田の再活用の可能性を模索し、水田を活用し、お米栽培と同じサイクルで原価率の格段に低い
ホンモロコ養殖に挑戦。（水田にも再使用可能な養殖池に変更）

③森林整備プロジェクト



2017/03/19

荒廃した森林（竹林）を整備。粉碎機により木竹をチップ化、
堆肥として販売へ。副産物として、カブトムシの幼虫販売

荒廃森林による鳥獣害の増加に伴い農作物の生産が困難となり、周辺整備が必要となってきた。災害対策と安全安心のために急務となった。

森林保全による観光資源への取組



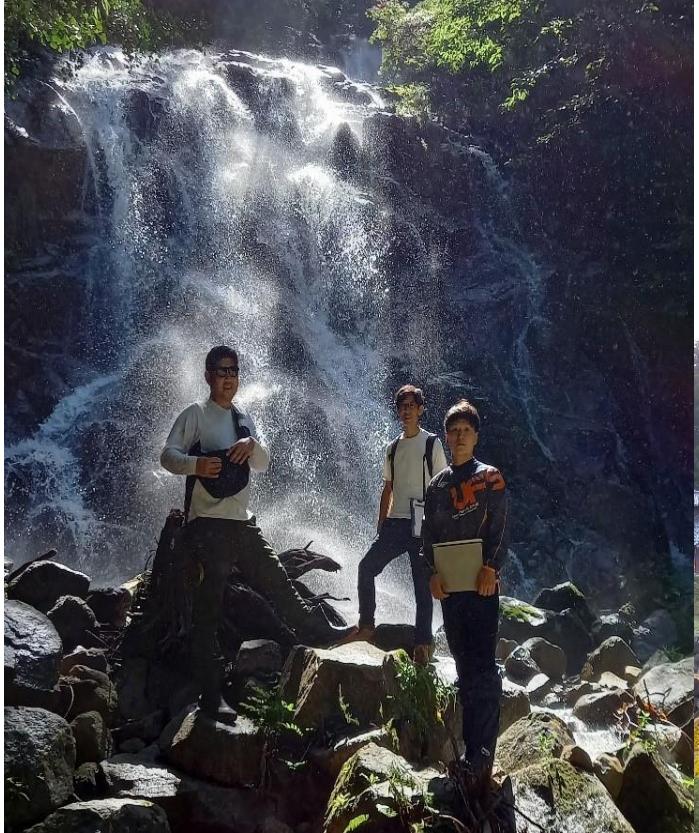
森林整備による景観展望



上宮津城の遺跡



出城があった城山は（日本でも有数の遺跡）、多くの歴史的秘話も残っており、地域の宝として地域の活性化に役立っていきたい。



上宮津のお宝、豊かな森と
きれいな水

宮津市で最大の区有林保有地域
地域面積の77.5%は森林

豊かな森から流れ出るきれいな水は
河口の人々の生活を潤し
綺麗な海をつくる



杉山・大江山里山音楽祭の開催

池永一美セクステット立命館大学、大阪大学 ジャズバンド



地域住民によるバザー



青天井 定員知らず



京都府地域力再生プロジェクト助成事業

杉山(上宮津杉)と歴史古道の保全

上宮津杉の特徴

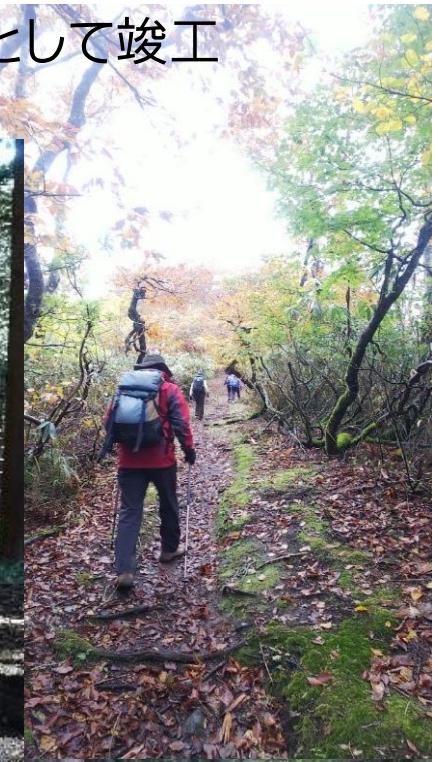
日本でも珍しい上宮津杉: 低い位置から枝分かれした杉(植林後、杉材料として使用する際に山からの切り出しが、困難であった。冬場積雪を利用してそり搬送するため積雪より上を切った。



- 1.上宮津杉の保全と観光資源を兼ねて杉山ミュージアムとして竣工
- 2.歴史古道と石畳などのお宝保存



2019.11.02



歴史古道 道普請 整備とツアーリポート



新たな冬の活用 テントサウナとスノーシュー



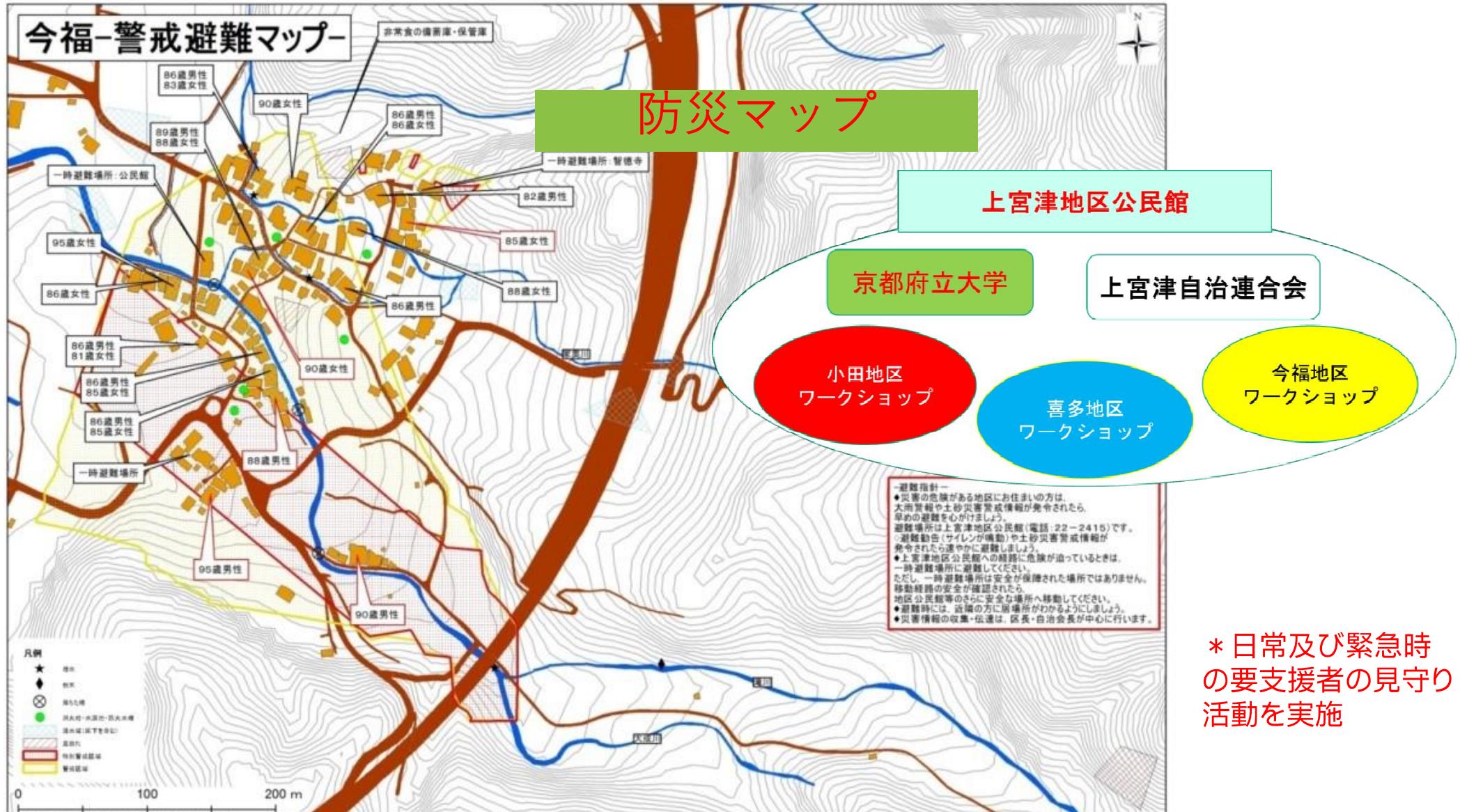
④上宮津ならではの観光事業への着手

農業体験と民泊トライアル 一泊二日の実施

二家族 10名の参加



part5 生涯を通じて誰もが安心安全に暮らせる地域づくり



* 日常及び緊急時の要支援者の見守り活動を実施

ワークショップを開催し、住民主体で防災マップを作成

メールによる一斉情報配信システムを構築

避けて通ることが出来ない現状にむけて

1. 少子高齢化と地域離れに伴う後継者不在による農林資源の管理

- ① 休耕田及び放棄地の増加⇒
農業法人の立上げによる地域挙げての管理推進
- ② 放置森林と所有者の確認と対策⇒
森林経営管理法についての勉強会と有効活用
- ③ 移住者などによる、新規就農の推進

2. 公共交通空白地運送の開始 (業者の撤退により)



- ① 地域による有償運送の開始
(2020年4月1日よりデマンド型)
(定時定路線運行)
- ② 車両遊休時間の有効活用の検討

現在の利用状況 120名/月 程度

地域住民の和みと癒しの場作り



落語会の開催（3年間）

KBS ほっかほっかラジオパーソナリティー・
笑福亭鶴瓶師匠 門弟 笑福亭晃瓶さん
5代目 桂 文枝師匠 門弟 桂 三扇さん
桂 阿か枝さん

喜多駅周辺の休耕田活用

ニンニク 玉ねぎ 落花生 生姜 さつま芋 コスモス

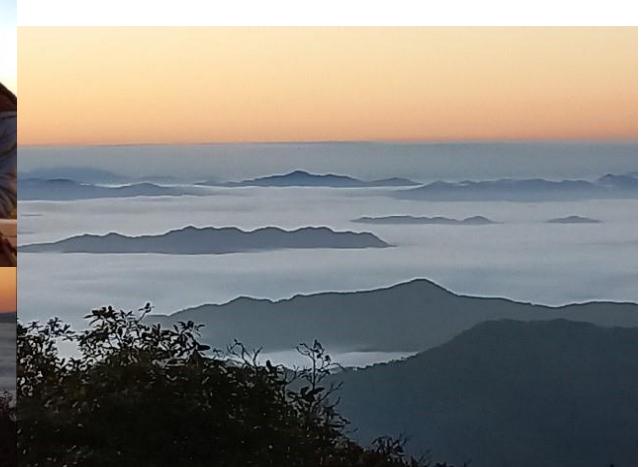


次なる担い手の活躍

(40歳以下の若者で構成 ミライブの設立)



航空管制塔での 雲海カフェ



城山階段整備



喜多駅前 野菜収穫体験



30代、40代グループが地域の魅力を発信
地域の担い手が育ち、地域の取組が継続できる

移住者による起業 (二家族)

陶芸工房 AIKA CRAFT



ご夫婦で陶芸家
ご主人はオリーブ栽培と兼業
地域の事業にも参加

京都宮津
暮らしの器



おにぎりカフェ (musubi)

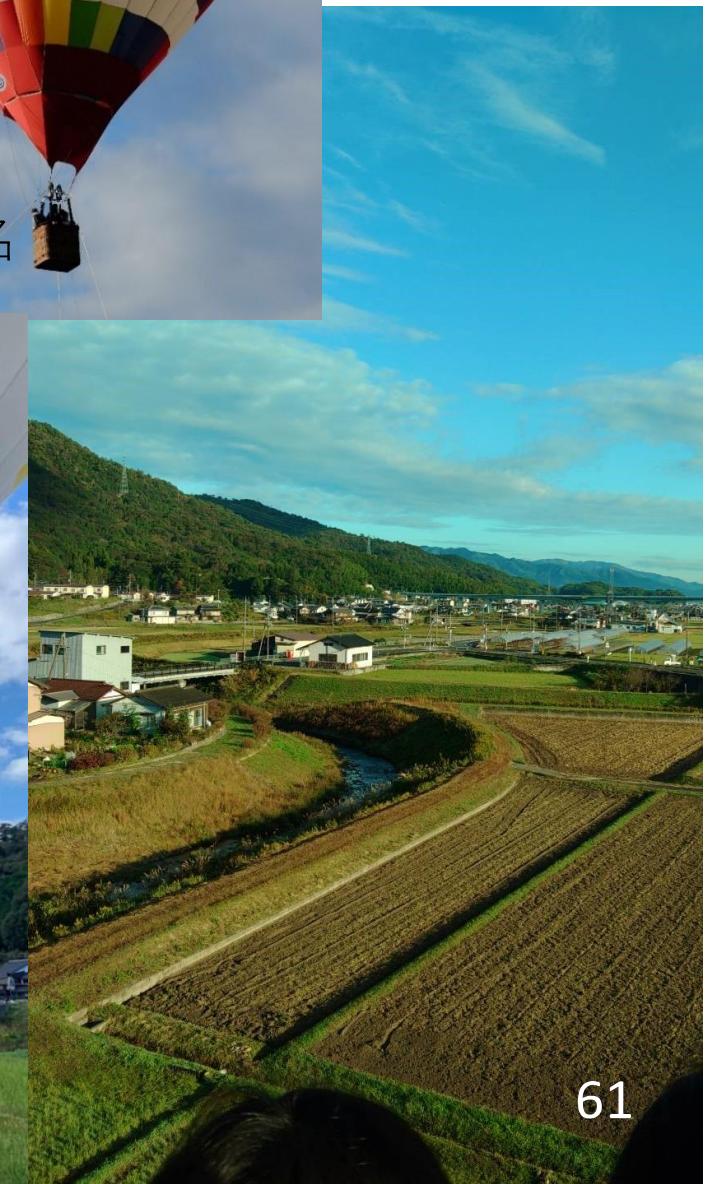
地域住民と共同出資で法人 カミヤヅラボを設立 (地域に必要とされる会社を目指す。)

○地域で農家民泊 (2軒同時オープン) 農業体験と民泊など

○地域の若者による古民家活用での情報発信スペースのオープン



かみやづ平野と熱気球イベント





上宮津21夢会議が17年間続けてきた辛皮ほたると、カジ力夢酔い祭りを、今年は場所を変更し廃所となった上宮津保育所を起点としてフェスタを開催しました。



地域としては3年ぶりの大きなイベントとなり不安と共に準備を進めてきました。蓋を開けてびっくり！

なんと来場者推計800名を数え。過去地域イベント最高入場者となりました。不手際は多くあったと思いますが事故もなく新しい上宮津をお知らせすることが出来ました。

音を楽しむ	食を楽しむ
4 : 15 ジャンオレ	15:00~19:00
14 : 50 クロッシング	・crape whip (クレープ)
15 : 30 社堂奥和太鼓会	・うあめん小僧 (ラーメン)
16 : 00 Madamp Dance School	・まだ、名もなきレモネード (レモネード)
17 : 00 山下 恒平	・コメトテ (スパイスクレー)
	・くまの隠れ家 ひだまり (スイーツ)
	・Mimi Reine (はちみつ販売)
	・おにぎりとおやつmusubi (お弁当、おにぎり)
	・上宮津21夢会議 (生ビール、ソフトドリンク)

ワークショップ (有料)
14:00~16:00
といろ (やんがら染め)

LEDスカイライト
打上げ 最終判断 19:00
14:00~16:00 受付
18:45 受け渡し開始
19:20 ~音打上げ

無料
1家族 2基まで
(先着50基)

令和2～3年大学連携事業の推進



福知山公立大学

地域の若者中心ヒヤリング実施中
地域への思い。
地域外流出の若者とのネットワークつくり

京都大学

* 子供たちと城山整備

現在の上宮津お宝を活用した取り組み
学びの上宮津 5つのプレゼンを検討中
この木、なんの木のイベント実施”



登山道の整備 枕木の移送

上宮津2032年ビジョンに着手

2019年より地域ビジョン検討会議を立ち上げ、地域振興と、持続可能なプログラム作成の検討と、活動目標を創ることとしました。

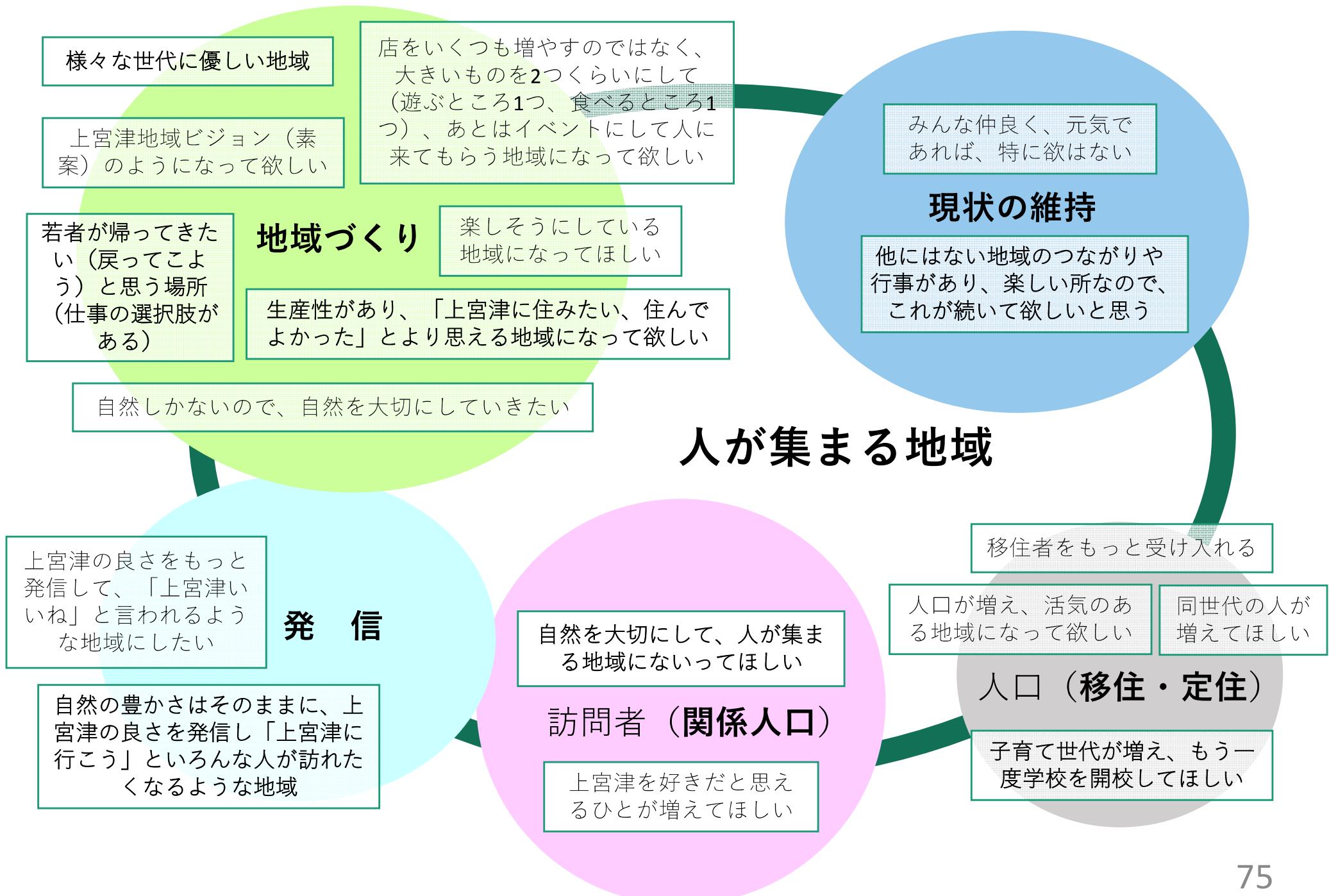
1.若者ターゲットにアンケート調査、ヒヤリングの実施

- 上宮津で好きなところは何ですか
- 上宮津で足りないところ、上宮津で良くないところは
- 上宮津で欲しい施設、お店など、生活の中で何を望みますか
- 幼児期からの子供育成に力を入れるためにどんな取り組みを望まれますか
- 上宮津が今後どんな地域になって欲しいと思いますか

以上の設問を投げかけました。

* アンケート、ヒヤリング結果に基づき京都大学の学生さんにまとめをしていただきました。

⑥上宮津が今後どんな地域になって欲しいと思いますか？



<ビジョンの実現に向けて>

このビジョンを実現するため、地域住民、地域団体の皆が力を合わせて推進実施していきます。



* * ビジョン制作にご協力いただいた方々 * *

上宮津地域の皆さん

京都大学地域振興研究会

宮津わかもの会議

2032年上宮津がめざす姿 (2032次世代ビジョン)



上宮津自治連合会
上宮津地域会議

上宮津2032年ビジョン策定の経過

上宮津2022年ビジョンの改定期を迎えて、上宮津地域会議では、令和元年7月に「上宮津地域ビジョン策定会議」を立ち上げてビジョン案の作成を進めてきました。

ビジョン案の検討を行う中で、2022年ビジョンの中で達成したもの、未達成のもの、継続するものなど、現況を踏まえ、これからの中の上宮津を担う地域の次世代の方々、地域外在住の上宮津出身の若い方に、それぞれの思いについてヒヤリング、アンケート調査を行いました。地域の強み、地域の弱みなどの意見をお聞きし、10年後の地域のあるべき姿を語っていただきました。

内容は子育てに関する事項が多く、強みは恵まれた自然環境、利便性、コミュニティーの良さが圧倒的で、弱みは、子育て施設が少ない、世代を超えた地域内交流の不足、旧来慣行への閉塞感、働く場の不足などで、子育て世代への思いやりが不足していることと生活インフラ面での老後への不安などが主な意見がありました。

地域の10年後のあるべき姿については、意向調査と集計・分析にご協力いただいた福知山公立大学生、京都大学生の意見も参考に「子育てのしやすい地域はあたたかく住民みんなも住みやすい地域」と位置付け、世代間で交流しながらお互いの持ち味を發揮し、より良い文化、生活環境をつくり上げることで楽しく明るい地域となっていくと考えました。

2022ビジョンの方向性を基本としながら今までの地域の活動、コミュニティーの在り方を基盤に、10年後のより良い地域をめざして策定いたしました。



2032年次世代ビジョンの策定要旨

- 人口減少・高齢化が進む中、上宮津存続のため「次世代の育成」は最優先事項
- 上宮津の豊かな自然と文化の中で育まれた子どもたちに、地域の将来を担って欲しい
- 移住者・既存住民の隔てなく、上宮津で子育てしたいと思える地域をつくる
- すべての住民がそれぞれの存在を認めながら生き生きと暮らし、輝く地域をつくる

地域が目指す姿

のびのび、安心の子育てができる地域

“子育てのしやすい地域はあたたかく、住民みんなも住みやすい”



地域のめざす姿に向けた5つの目標

1 だれもが安心して子育てができる地域づくり

2 子どもがのびのび育つ地域づくり

3 自然や歴史文化を大切にした上宮津ならではの地域づくり

4 巣立っていった子どもたちが、帰ってきたくなる地域づくり

5 すべての住民が安心安全に暮らせる地域づくり

今日までの取り組みによる住民意識の変化

- ・若者の活動が活発になった
 - ・何かをしよう、やれば出来るといい
(出来ない理由を言うより出来る方法を考える)
 - ・結果がつながる事の楽しさ
 - ・関係人口の大切さ (人が動くということ)
 - ・地域のお宝の再発見
 - ・移住者から学ぶ (移住者が地域への積極的な関与により住民意識の変化)
- 人々とのふれあいと垣根を超えた連携を大切に自発的な行動と、
自らが楽しみ、自らが誇れる、自由な意見交換ができる、
そんな村に一步近づいた。

”終わりに“

出来ることから少しづつ

人に恵まれ、豊かな自然環境を財産として
人が集える 皆が楽しく 自慢できる
住んで良かった

そんな村に私達はしたい。!

”地域で人が動くこと、賑いが活性につながると信じ”

やる気になれば、必ずできる方法が、浮かぶ

合言葉 # 73歳は若者 # 83歳まで壮年

年金組は即戦力

関西若手議員の会皆様のさらなるご活躍と
ご健康を祈念申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

